

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第9回選定)

有識者懇談会概要

日 時：令和4年11月7日(月)17:00~17:30

場 所：総理大臣官邸4階大会議室

出席者：

(政府) 野村農林水産大臣、岡田内閣府特命担当大臣、

藤井内閣官房副長官補、青山農林水産省農村振興局長

(委員) 林座長、今村委員、織作委員、田中委員、永島委員、藤井委員、向笠委員

概 要：

(林座長)

- ・ 本日は、第9回選定となる「ディスカバー農山漁村の宝」の選定地区の決定並びにグランプリ、優秀賞及び特別賞の選定について御議論をいただくので宜しくお願ひしたい。

【事務局説明及び意見交換】

(青山農村振興局長から、資料に基づき、第9回選定の選定地区並びにグランプリ、優秀賞及び特別賞の候補について説明。)

(委員からいただいた主な意見は以下のとおり。)

- ・ 今回は SDGs につながる幅広い取組や IT 活用、デジタル化によるスマート水産業の実現、SNS の効果的な活用なども見られ、総じて良い選定。
- ・ 見て美しい景観保全や、小中学生の体験学習が多かった。農業が子供達に受け継がれ、次世代に伝えていくことは重要。
- ・ 活動に当たっての理念や目的が仲間の中で共有され、スケールの大きな取組が選定された。受賞の重みを実感して活動が続いていくように期待と応援をしている。
- ・ スポーツ選手のセカンドキャリアが大事であり、スポーツ・農業ともに今後の働き方改革が焦点となる。マルシェを主宰すると、物流が大変で国内輸送費が高いと感じる。成田空港などを軸に LCC を利用した貨客混載など新しい輸送の方法が考えられるが、地方の取組に寄与すると思慮。
- ・ グランプリ及び優秀賞となった地区について、農泊や観光の分野から多く選出されている。コロナ禍で観光需要を創り出していることは素晴らしい。他方、いかに取組を知ってもらって横展開を図っていくかが課題。
- ・ 「ディスカバー農山漁村の宝」の知名度が全国的に上がってきている。個人の受

賞者は大胆に挑戦している姿に頼もしさを感じた。地方を支援するため、お取り寄せにかかる輸送代を支援する取組があるとよい。

- ・ コロナ禍が続くなか 616 件の応募数は素晴らしい。また、取組の内容が年々良くなってきている。選定に至る倍率およそ 20 倍は厳しすぎるくらい。この「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された取組がますます発展することが期待される。

(岡田内閣府特命担当大臣)

- ・ 今年度も地域の実情を踏まえた、特色ある取組が選定された。デジタルの力を活用するなど、アフターコロナの地方創生に直結するものも多かったと感じている。
- ・ 地域の様々な団体と連携して活力ある地方を創り上げるために、豊かな自然、観光資源、文化といった地域が誇る資源を最大限に活かし、地方創生の政策を推進してまいりたい。「ディスカバー農山漁村の宝」を通じて、他地域に刺激を与え、革新的な取組が各地に広がっていくことを期待している。

(野村農林水産大臣)

- ・ 地域の農林水産物を生産・加工・販売する 6 次産業化や、地場産の農産物を地域で消費する地産地消などの「むらの宝」を育ててきた地区が選ばれている。
- ・ これらの宝を国民にもっと広く知っていただき、全国に素晴らしい取組がもっと広がるように全国にしっかりと情報発信していく。

(林座長)

- ・ 意見交換を終了する。
- ・ 第 9 回選定の選定地区並びにグランプリ、優秀賞及び特別賞について案のとおり決定することによろしいか。

(異議なしの声)

(林座長)

- ・ それでは決定とさせていただきます。
- ・ 閉会に際して、岡田内閣府特命担当大臣、野村農林水産大臣から御挨拶賜りたい。

【閉会挨拶】

(岡田内閣府特命担当大臣)

- ・ 地方創生担当、デジタル田園都市国家構想担当であると同時に、沖縄及び北方対策担当であり、沖縄県での取組がグランプリとなったことを大変嬉しく思う。また、全国で取組をされている方々の努力に敬意を表したい。

- ・ ディスカバー農山漁村の宝を長年続けていくことによって、地域づくりの大きな原動力になる。地域の知恵や工夫が大きく実を結ぶよう、これからも支援してまいり

たい。

(野村農林水産大臣)

- ・ 農山漁村については、ともすれば人口減少や高齢化ばかりが話題になるが、今回選定された地域は、自分たちのむらづくり・まちづくりを一生懸命取り組んでいただいている。今回の選定が地域にとって励みとなることを期待。
- ・ 報道関係の皆様には本件を取り上げていただくことによって、地域の活性化につながっていくことを強く期待している。

【閉会】

(以上)